薬事委員会記録

日時：2020年9月3日(木) 16時00分

場所：医学部福利教育棟2階講義室

出席者：鈴木、白木、大野、諏訪、吉倉、今井、早崎、川瀬、周、杉山、堀、加藤、武内、中村、吉田(省)、清水、安田(満)、酒々井、塚田、佐野、早野、太田、安田(浩)、飯原、小林、小森

委任状提出：坂井、田中、田辺、出田

欠席者：池田、江頭、西堀、飯沼、安藤、長瀬、吉田(学)、青木、堀川、境、二村、笹井

記録の承認

2020年6月4日開催の薬事委員会の記録が承認された。

議題

1. 医薬品の採用について

4品目(コラン錠 2.5mg、コアベータ静注用 12.5mg、フォシーガ錠 5mg、ツムラ麻子仁丸エキス顆粒)の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

リティンパ耳科用 250 μ g セットの継続試用を承認した。試用薬剤のザバクサ配合点滴静注用は使用患者が少ないため緊急購入薬品として運用することとなった。

3. 医薬品の新規試用について

8品目(ダラザレックス点滴静注用 100mg・同 400mg、エンレスト錠 100mg、ルムジェブ注ミリオペン HD、オンジェンティス錠 25mg、PA・ヨード点眼・洗眼液、トリンテリックス錠 10mg、ロケルマ懸濁用散分包 5g)について、申請診療科および薬剤部より説明され、新規試用の承認可否の投票を実施した結果、全て承認された。

4. 医薬品の製剤変更について

3品目(インスリンリスプロ BS 注ソロスター-HU「サノフィ」、ビムパット点滴静注 100mg、テリパラチド BS 皮下注キット 600 μ g「モチダ」)について報告し、製剤変更の承認可否の投票を実施した結果、承認された。

5. 医薬品の採用中止について

7品目(アルケラン錠 2mg、カリエードプラス散(分包)96.7%、カルバゾクロムスルホン酸ナトリウム散 10%「日医工」、トレドミン錠 25mg、ルジオミール錠 10mg、アピドラ注ソロスター、キシロカイン注ポリアンプ 0.5% 10mL)の採用中止を承認した。

6. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

① 医薬品の院外採用について

22品目(イブランス錠 25mg・同 125mg、ツムラ調胃承気湯エキス顆粒、ディナゲスト錠 0.5mg、デエビゴ錠 5mg、ニューベクオ錠 300mg、ビラフトビカプセル 50mg、フィコンパ細粒 1%、ボンゾール錠 100mg、メクトビ錠 15mg、メラトベル顆粒小児用 0.2%、ラツォダ錠 20mg・同 40mg、ロケルマ懸濁用散分包 5g・同 10g、アイラミド配合懸濁性点眼液、コレクチム軟膏 0.5%、インスリンリスプロ BS 注ソロスター-HU「サノフィ」、オゼンピック皮下注 0.25mgSD・同 0.5mgSD・同 1mgSD、ソリクア配合注ソロスター)の院外採用を報告した。

② 緊急購入医薬品の登録について

14品目(イブランスカプセル 25mg・同 125mg、ツムラ桂枝加芍薬大黃湯エキス顆粒、セロクエル 25mg 錠、セロクエル 100mg 錠、タフィンラーカプセル 50mg、ドラル錠 15mg、

パナルジン錠 100mg、ベシカムクリーム 5%、メキニスト錠 0.5mg、リスミー錠 1mg、エスクレ坐剤 250mg・同 500mg、ミケラン点眼液 1%) の緊急購入の登録を報告した。

7. 医薬品の安全使用のための業務手順書の改訂について

2020 年 8 月に医薬品安全使用に関する業務手順書に基づいた業務実施状況の評価を実施した。東 6 階、西 9 階、麻酔科、手術部にて C 評価の項目があったが、今後、改善対策または業務手順書の改訂を行うことを報告した。

8. 後発品への切り替えについて

医薬品購入額削減と診療報酬額増加を目的として、後発品への更なる切り替えを進めることを説明し、12 品目の後発品への切り替えを報告した。

9. 輸液製剤の包装変更について

アセトキープ 3 G 注、ソリュージェン F 注、20% マンニトール注射液「YD」について、ボトル製剤販売中止に伴い、バッグ製剤への切り替えを報告した。また、移行期間中にボトル製剤とバッグ製剤が混在することになることを報告した。

10. フォーミュラリーの運用について

高血圧治療時の AT₁ 受容体ブロッカーについて、テルミサルタン錠 40mg「DSEP」、オルメサルタン OD 錠 20mg「DSEP」、イルベサルタン錠 100mg「DSPB」、カンデサルタン錠 8mg「あすか」、ロサルタン K 錠 50mg「明治」、バルサルタン錠 80mg「サンド」を推奨薬とした院内ルールおよびフローチャートを提案し承認された。

11. 緊急購入薬品と現採用薬品の切り替えについて

緊急購入薬品の中で、同効薬の院内採用薬品よりも使用頻度が多い品目が複数あるが、規定の都合上採用申請に制限があることから切替が進んでいない現状であるため、申請品目とは別に、薬剤部と診療科との事前協議のうえで院内採用薬品と緊急購入薬品との間で採用変更を行っていくこととした。

12. 病院医薬品集への運用方法について

病院医薬品集について、冊子での運用を廃止し、オンラインの医薬品情報のみで運用していく事を提案した。今後、各部署へのアンケートを行い、その意見を踏まえた上で、次回の薬事委員会で決定することとした。

次回薬事委員会の開催日時は、2020 年 12 月 3 日(木)とした。